

Ior(アイ・ゼロ・アール)測定用ユニット

RM-1

電気設備保安業務の高度化・効率化に貢献!
単相、三相(デルタ結線)回路用

特長

1.市販のクランプメータと組み合わせて抵抗分漏れ電流(Ior)が測定可能!

「Ior測定用ユニット」をお手持ちのクランプメータにプラスするだけで、抵抗分漏れ電流(Ior)測定器として利用することが可能となります。

高価な専用の測定器を購入する必要が無いので経済的です。

2.コンパクトな携帯型で持ち運びが便利!

コンパクトな携帯型なので、クランプメータとセットで簡単に持ち運びできます。地絡点探査などのようにいろんな現場を移動して調査する業務に最適です。

3.非接触式センサーだから安全!

電圧位相検出センサーは非接触式なので、電路の充電部を触る必要がなく、安全に作業できます。

4.使い方は、とても簡単!

使い方は簡単、片手で操作できます。また裏面にマグネットを装着していますので盤面に取り付けて使用するなど、現場の状況に応じて効率的な作業が行なえます。

5.低消費電力化を実現!

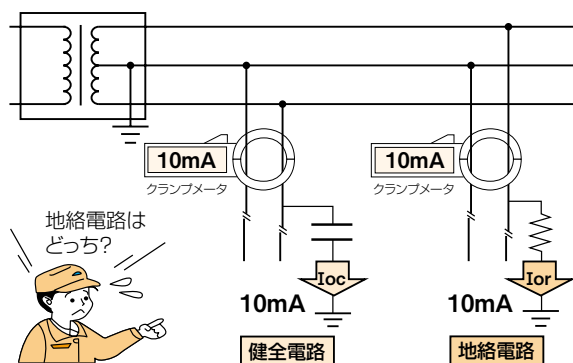
単3アルカリ乾電池で30時間以上使用可能です。



地絡箇所の探査が効率的に行えます。

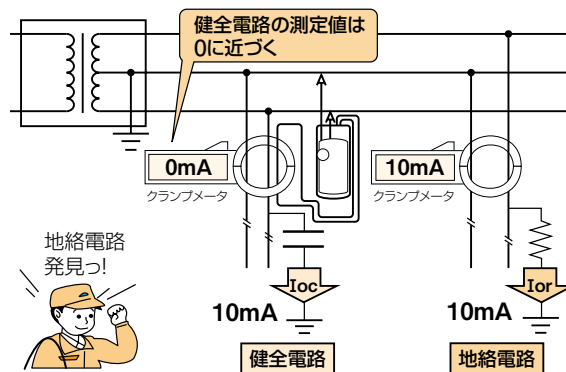
地絡(絶縁劣化)が発生したとき、どこで地絡が起きているか探査します。今までは、容量分漏れ電流(Ioc)にじゃまされ地絡箇所の探査に労力がかかっていましたが、本製品を使用すると、効率的に地絡箇所の探査ができます。

クランプメータで測定した場合



健全電路も地絡電路も測定結果は同じなので、地絡電路が特定できない。

Ior測定用ユニットを使用した場合



健全電路の測定値は小さくなるので地絡電路を特定できる。